



有明エナジーでは、一般家庭への電力供給を行っています

市に本社を置く有明エナジーでは、電力の小売事業を行っており、現在、おおむね全ての公共施設に電力を供給しています。

一般家庭への電力供給も行っており、地域で発電された電力を地域で使用する「地産地消」をますます拡大させています。

電力の地産地消が拡大しています

総合政策課スマートシティ推進室 ☎ 57-7622

「炭鉱のまち」から「エネルギーのまち」を目指し

平成29年、市は三井物産(株)、(株)グローバルエンジニアリングの2者の民間企業と「地域エネルギーの有効活用等を中心としたまちづくりに関する連携協定」を締結しました。現在、協定に基づいて市の活性化に資するさまざまな取り組みを推進しており、電力の地産地消もその一つです。

エネルギー施設の立地が進む荒尾市

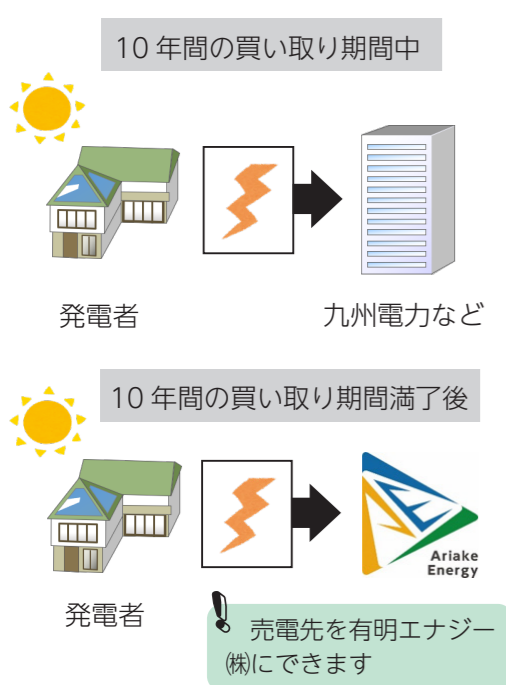
大規模な太陽光発電施設やバイオマス発電施設をはじめ、再生可能エネルギー施設の立地が進み、エネルギーの地産地消を図るための環境が整っています。

地産地消の拡大が地域を元気にする

市内で発電された電力を市内の公共施設や民間企業に供給(地産地消)することは、地域の資金(電気料金)を地域で循環することにもつながります。今回は、地産地消をさらに拡大する新たな取り組みをご紹介します。

有明エナジー(株)はFIT期間が満了した住宅用太陽光発電の余剰電力の買い取りも実施します。

有明エナジー(株)が買い取った電力が市内に供給されることで「地産地消」がますます拡大します。



有明エナジー(株)による余剰電力の買い取りも実施しています

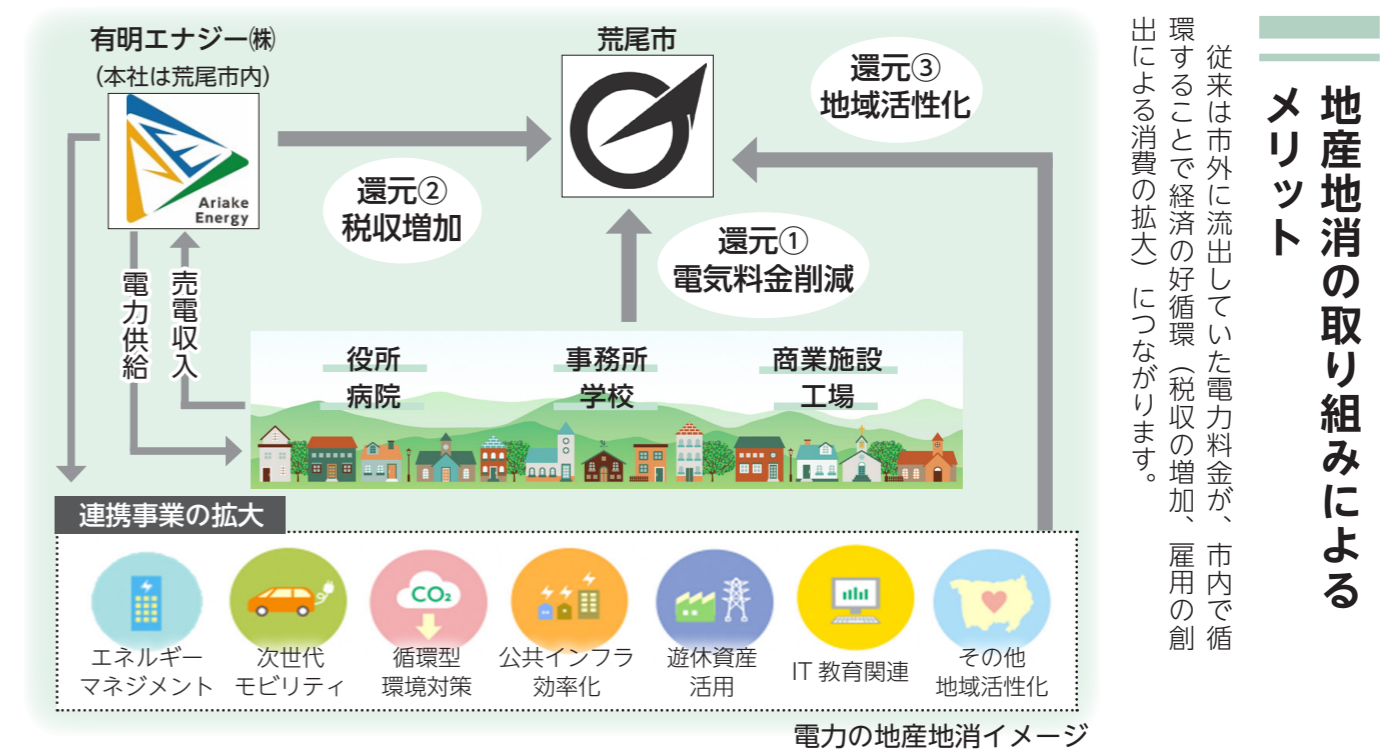
2009年11月から開始された太陽光発電の余剰電力の買い取り制度(FIT)は、買い取り契約締結から10年経過後に終了します。FIT期間が終了すると、契約していた事業者は調達価格での買い取り義務がなくなるため、発電者は①売電先を選択する、②余剰電力を備蓄し夜間に自家消費する(蓄電池を導入して夜間に使用するなど)といった選択を行う必要があります。どの小売電気事業者も選択しない場合は、九州電力などの一般送配電事業者により、決められた価格での買い取りが行われます。

売電先として選択

蓄電池

売電するのか自家消費するのか選ぶ必要があります

住宅用太陽光発電の固定価格買取制度の買取期間は、契約から10年で満了します



有明エナジーでは**最大 10 円/kWh**で卒FITを買取!!

面倒な手続きは一切不要・ホームページからお申込み頂くだけで手続きは完了!

初期費用・月額費用 0円

(FIT 期間中) 48 円/kWh 等の 固定価格

FIT 終了後

有明エナジーは **9.5 円/kWh** で買取

電気も同時ご加入で **10 円/kWh** で買取

有明エナジー株式会社 荒尾市大島 1733 番地 5 ☎0968-63-2122

〔有料広告〕

4 人家族 (40 アンペア/年間 4800kWh の使用量) のご家庭の場合 (目安)

九州電力/従量電灯 B と比較して **1 年目は 3,792 円お得!!**

※ 2 年契約の場合 / 2 年目以降も年間 204 円お得!

基本料金 17.46 円

従量料金 23.06 円

お得! 25.70 円

燃料調整費 等

お得! 特別割引*

地元への貢献

初期費用 不要

安定供給

詳しくは検索!

有明エナジー

※ 2 年契約の場合供給開始から 1 年間 3%割引

〔有料広告〕